

U.S. Indicators

発表日: 2020年7月9日(木)

米国景気指数は経済の拡大を示す(6月ISM非製造業)

～ロックダウン解除で一時的な急拡大～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

20年6月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、57.1(前月45.4)と前月比11.4%p上昇し市場予想中央値50.2(ブルームバーグ集計)を大幅に上回った。重要な活動指数、新規受注が急激に上昇し、拡大縮小の分岐点である50を大幅に上回る形で総合指数を押し上げた。4月下旬以降の経済活動の段階的な再開によって、非製造業部門は6月に拡大に転じた。

総合指数の構成項目をみると、入荷遅延が57.5(前月67.0、前月比▲9.5%p)と低下した一方、活動指数が66.0(前月41.0、前月比+25.0%p)、新規受注が61.6(前月41.9、前月比+19.7%p)、雇用が43.1(前月31.8、前月比+11.3%p)と大幅に上昇した。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比▲2.38pの押し下げ寄与となった一方、活動指数が前月比+6.25%p、新規受注が前月比+4.93%p、雇用が前月比+2.83%pの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、世界的な経済活動再開を背景に、新規輸出受注が58.9(前月41.5、前月比+17.4%p)と50を大幅に上回り、米国輸出が回復に転じたことを示している。

6月の業種別の動向では、拡大した業種は、農林水産業、宿泊・飲食サービス、卸売業、不動産業、医療・社会支援、建設業、小売業、公益、運輸・倉庫、芸術・娯楽・レクリエーション、情報産業、金融・保険、公的部門、専門・科学・技術サービスと全18業種中14業種に増加した(5月4業種)。一方、縮小した業種は、鉱業、その他サービス、企業向けサービスの3業種(5月14業種)に減少した。教育サービスは変わらずとなった。

企業からの報告では、企業は新型コロナウイルスと最近の社会不安の影響を引き続き懸念しているものの、事業の再開を受け、事業環境や経済について慎重ながら楽観的な内容が多くなった。宿泊・飲食サービスでは、経済が回復への道を進んでいるが、COVID-19のパンデミックが依然続くなか、ワクチンがないため、企業は回復の動きを慎重にみていると報告された。また、教育サービスは、対面とオンライン授業の組み合わせを進めているが、オンライン授業だけになると関連収益に大きな影響を与えると指摘した。

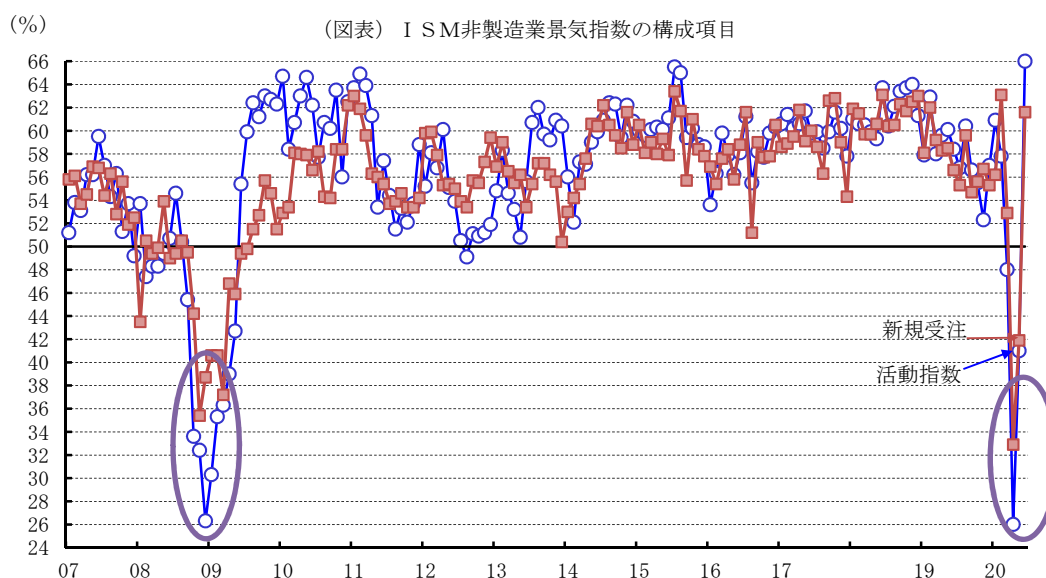
一方、農林水産業では過去4週間で販売量が驚くほど回復したこと、建設業では売上高が大幅に増加したため再び一部で供給問題が起き、木材不足が最大の懸念であること、医療・社会援助では、閉鎖されていた手術室、リハビリクリニック、医師の診療などが再開されたこと、鉱業では活動水準が安定し、近い将来に反発する可能性があること等が報告された。また、情報では、広告が増加し始めるなどメディア事業が好転している一方、大統領選挙が近づくにつれて前例のない市民のおよび社会的不安の高まりを警戒していると指摘された。

インフレ面では、牛肉、チキン、豚肉、クリーニング製品、コンピューター機器、ディーゼル燃料、消毒剤、手用消毒剤、用務用品、医療用品、個人用保護具（つなぎ服、手袋、ガウン、マスク）、N95 マスク、木材製品などの押し上げによって仕入価格D Iが62.4（前月 55.6）と上昇した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って需要の強まった財を中心に価格上昇圧力が高まっていることを示している。

供給不足の部門では、建設労働者が再び不足している。商品では、COVID-19 テストキット、クリーニング用品、用務用品、医療機器、医療用品、個人用保護具（つなぎ服、手袋、ガウン、マスク）、手術用マスク、消毒剤、衛生用品、消毒用ワイプ、鼻腔スワブ、N95 マスク、綿棒、ハンドサニタイザー、ニトリル手袋、靴カバー、ワイプ、安全装置などの不足が報告された。

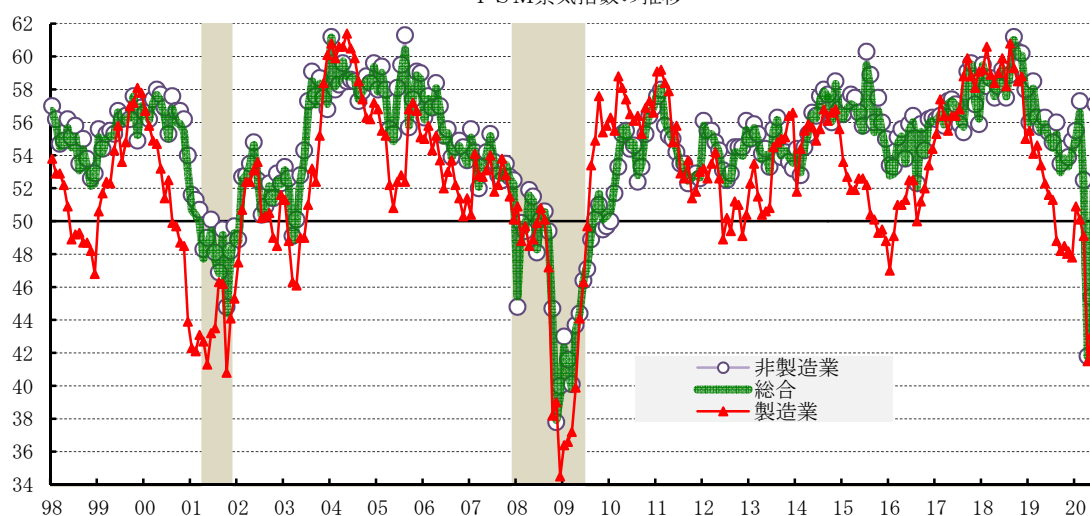
米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数で合成）」は、4－6月期に47.9と1－3月期の54.6から急低下したが、6月に56.7と5月の45.2から11.5% p 上昇しており、景気が拡大に転じたことを示している。

今後も、4月下旬以降にロックダウンが解除された影響で、経済は回復を続けると予想される。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが急激に加速しており、ソーシャルディスタンスを考慮した制限の維持・強化によって、景気回復ペースは様々な制約を受け続けよう。このような状況のもと、ISM非製造業景気指数、総合景気指は50 台を維持し前月比での景気回復傾向を示すものの、新型コロナウイルス危機前の経済水準を取り戻すにはかなりの時間を要すると予想される。



(出所) ISMデータより加工

ISM景気指数の推移

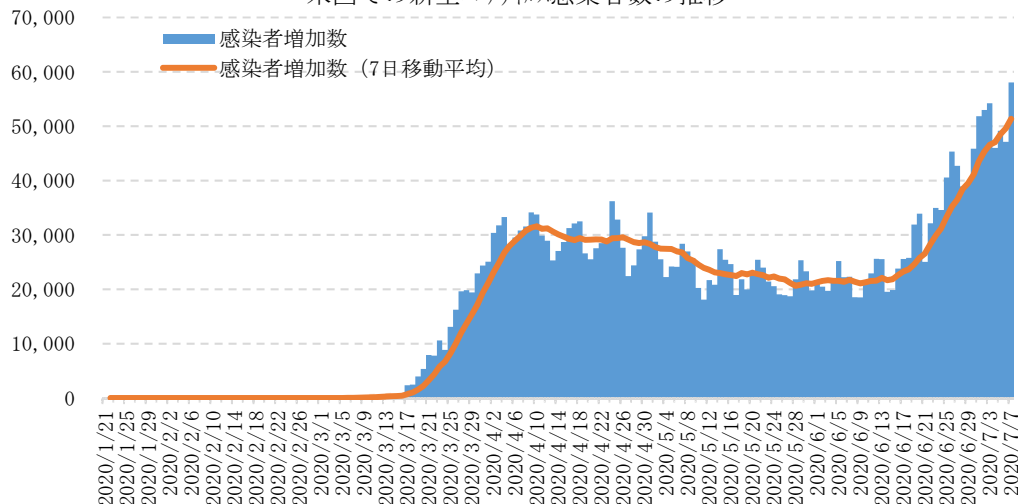


(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期。

(人)

米国での新型コロナウイルス感染者数の推移



(出所) WHO等

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
19/06	55.4	58.4	56.6	55.2	51.5	56.0	58.8	55.5	55.0
19/07	54.8	56.8	55.3	55.7	51.5	53.5	57.0	53.5	50.0
19/08	56.0	60.4	59.6	53.7	50.5	49.0	58.4	50.5	55.0
19/09	53.5	56.6	54.7	51.7	51.0	54.0	59.3	52.0	53.0
19/10	54.4	55.5	55.6	53.9	52.5	48.5	57.3	50.0	50.5
19/11	53.9	52.3	56.7	54.9	51.5	48.5	58.8	52.0	50.5
19/12	54.9	57.0	55.3	54.8	52.5	47.5	59.3	51.0	51.0
20/01	55.5	60.9	56.2	53.1	51.7	45.5	55.5	50.1	46.5
20/02	57.3	57.8	63.1	55.6	52.4	53.2	50.8	55.6	53.9
20/03	52.5	48.0	52.9	47.0	62.1	55.0	50.0	45.9	41.5
20/04	41.8	26.0	32.9	30.0	78.3	47.7	55.1	36.3	46.9
20/05	45.4	41.0	41.9	31.8	67.0	46.4	55.6	41.5	48.0
20/06	57.1	66.0	61.6	43.1	57.5	51.9	62.4	58.9	60.7

(出所) ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

